

学習内容報告書 フォーマット

学校名	岩美町立岩美北小学校
授業者	石田 瞬

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

岩美町の未来をつくり隊

1-2. 学年

第5学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

本校は「心と体を鍛え 共に学び認め合う 北っ子の育成 ～信頼する 任せる 支える～」を学校教育目標としている。また、本校のある岩美町はユネスコ世界ジオパーク山陰海岸ジオパークに認定されており、大昔から現在に至るまでの多様な地質や地形が存在地質、地形身近にある豊かな自然や文化を活かした海洋教育に力を入れて取り組んでいる。特に、海は児童にとって身近な環境であり、生活のなかにも溶け込んでいる。しかし、岩美町の宝である海が昔と比べ汚れ、生態系への影響がみられるといった課題もある。そこで、本単元では「岩美町の未来をつなげ隊」として、豊かな海をこれからも守っていくためには、どのような方法があるのか子どもたち自身で、実際に海の現状を知り、課題を見つけ、課題解決をしていくための方法を人・ものと触れ合いながら学習していく。また、SDGsとの関連を意識しながら活動を行い、持続可能な社会の担い手として学習を進めていく。そのなかで、地域を愛する心を育むとともに、自ら考え、仲間とともに協同し、地域に元気が届けられる児童の育成を目指している。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

本単元は、岩美町にしかない魅力(宝)について主体的に調べ、地域の一員として岩美町への思いを深めることをねらいとしている。岩美町の良さや特色について必要な情報を収集・整理・まとめることを通して、自分たちの生活との関わりを考え、地域の一員としての自覚をもてるようにする。また、これからの岩美町を考えていくうえで、岩美町の課題を体験的な活動や地域の方とのふれあいを通して、自分たちにもできることを見つけさせたいと考える。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・問題状況の中から解決の手順を考え、見通しを持って計画を立てたり、課題の解決に向けて必要な情報を収集し分析しながら課題の解決を図ったりする。(知識・技能)
- ・課題解決を目指して事象を比較したり関連付けたりして考え、調べたことを相手や目的に応じて、わかりやすくまとめ表現したり、生活の中に生じたりする。(思考・判断・表現)
- ・他者と共同して課題を解決し、よりよい人間関係の醸成を図る。(主体的に学習に取り組む態度)

1-7. 単元の展開（全28時間）

時数	○学習活動・主な内容	○教師の指導 ・主な評価 ●外部連携 / 使用教材等
3	○1年の計画をたてる(3) ・調べるテーマ、学習のねらい、学習方法を考え計画をたてる。 ・岩美町の魅力や課題を見つけて発表し合う。	○4年生までに見つけた、岩美町の魅力(宝)や自分たちが考える課題をを Google スライドにまとめ、整理するよう促す。 ・4年生までに見つけた岩美町の魅力をふり返ったり、身近な生活場面から岩美町の課題を見つけようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
5	○SDGs の視点から、岩美町の課題を見つけよう。(5) ・SDGs について理解する。 ・これからの岩美町について考え、大切にしていきたいことを見つけよう。	○SGGs について、インタビューし調べたことや未来に残したい岩美町の魅力(宝)を新聞にまとめる。 ・調べたことを相手や目的に応じて、わかりやすくまとめ表現している。(思考・判断・表現) ●鳥取県 SDGs 推進課/プレゼンテーション
5	○お掃除カヤックに行こう(5) ・お掃除カヤックの計画を立てる。(1) ・お掃除カヤックをする。(3) ・お掃除カヤックを振り返る。(1)	○お掃除カヤックを通して、見つけた海の課題を新聞にまとめるよう促す。 ・問題状況の中から見通しを持って計画を立てたり、課題の解決に向けて必要な情報を収集し分析しながら課題の解決を図ったりする。(知識・技能) ●岩美町立渚交流館/体験活動(お掃除カヤック)
4	○海洋問題について知ろう(4) ・海洋問題について調べたり、詳しい人にインタビューしたりして、解決方法を考える。 ・海洋問題について、わかったことをまとめる。	○海洋問題について理解し、課題解決について話し合ったり、まとめたりする。 ・海洋問題について目的に応じて、わかりやすくまとめる。(思考・判断・表現) ●特定非営利活動法人 黒潮実感センター 神田優/プレゼンテーション
6	○海と川、森とのつながりを知ろう。(6) ・森の豊かさを守る取り組みについて詳しい人にインタビューしよう。 ・木のストローづくりを体験する。 ・森林を見に行き、海と森のつながりについて考える。	○海と川、森とのつながりについて理解できるよう、実際に森を探索したり、課題異解決の方法を学んだりするよう促す。 ・課題の解決に向けて必要な情報を収集し分析しながら課題の解決を図る。(思考・判断・表現) ●クレコ・ラボ智頭研究所/体験活動(木のストローづくり体験・プレゼンテーション・森の散策)
5	○それぞれの地域の魅力を全国の小学生と交流しよう。(5) ・発表の準備をする。 ・全国の小学校とリモートをつなぎ、岩美町の魅力を発信する。 ・地域の方へ、岩美町の魅力を発信する。	○岩美町の魅力や魅力をこれからも守っていくための方法をまとめ、全国の小学生と交流するよう促す。 ・友達と協力し、学習したことをまとめたり、発信したりする。(主体的に学習に取り組む態度) ●第14期ユネスコ SDGs アシストプロジェクト/各校のプレゼンテーション

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

海と川、森とのつながりについて理解を深め、岩美町の魅力である「海」の豊さを守る方法について考えることができる。

2-3. 本時の展開

○主な学習活動 / ・反応	○教師の指導・支援 / ☆評価の視点(方法)
○本時の学習の見通しをもつ。	○前時までの学習計画表を振り返り、本時で何をするのか見通しをもたせる。
海と川、森とのつながりについてクレコ・ラボさんと一緒に学習をしよう。	
○クレコ・ラボの山本福寿さんから、森林の働きについて話を聞いたり、インタビューしたりする。 <ul style="list-style-type: none"> ・森林には、水をきれいにすることはたらしきがあることが分かった。 ・海をきれいにするためには、森や川をよごさないことが大切だということが分かった。 	○ふり返りができるようにメモを取りながら聞いたり、事前の質問を準備させたりする。 <ul style="list-style-type: none"> ・話を聞くだけではなく、森林の働きや海と川、森とのつながりについてプレゼンテーションや動画を見て理解できるようにする。
○森を守っていくための方法を木のストローづくり体験を通して学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・森を守っていくためには、木材を積極的に使うことが大切だと分かった。 ・プラスチック製品ではなく、木材を使うことによってごみを減らすことが分かった。 	
○森林散策をして、実際に森林の様子を知ろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・森の中にもごみがあることが分かった。 ・森の中を流れる川の水は、とてもきれいだった。 ・森にごみを捨てるといずれ、川を通り、海に流れ着くことが 	○木のストローづくり体験を行うことによって、木材を使う良さ、森林を守ることへの意識を高めるようにさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・家族への木のストローを作ることによって、家族の方も木材を使った商品への関心をもってもらえるように作った商品の紹介を家族にするように促す。
	○実際に、散策することによって森の現状を知ることを促す。



見て分かった。

- ・森の豊さを守ることで、海の豊さにつながるが実際に、散策することで分かった。



○学習を振り返る。

森林の働き、海と川、森とのつながり、海の豊さを守るために自分たちにもできること振り返る。

- ・海と川、森とがつながっていることが分かった。岩美町の豊かな海を守っていくためには、川や森の自然を大切にしていけないといけないことが分かった。
- ・森を豊かにしていくためには、木材を積極的に使うことが大切だと分かった。
- ・プラスチックごみを減らすことで、海の自然を守っていくことが分かった。

☆課題の解決に向けて必要な情報を収集し分析しながらこれから自分たちができる解決方法を考えることができる。

(ふり返しワークシート)

○今日学習したことを新聞にまとめたり、全国の小学生とリモートをつなぎ学習していくことを伝える。

3. 今回の活動の自己評価

今回の学習では、講師の方の話を聞いたり、実際に木のストローづくり体験をしたり、実際に森を散策したりすることによって海と川、森とのつながりを理解することができた。こうした体験的な活動をすることで、子どもたちは課題を見つけ、その課題解決にせまっていく方法を真剣に考えるきっかけになった。そして、何よりも岩美町の豊かな自然を守っていこうとふるさと岩美町を愛する心を育くみ、自ら考え、仲間ともに協同し、地域に元気が届けられる児童の育成につながったように感じている。

4. 今後の課題

今年度は、多くの人やものに出会い、体験的な活動を通して岩美町の魅力(宝)の発見や課題を見つけることができた。こうした人やものに出会う機会をこれからも大切にしていくために必要な財源を確保し、子どもたち学習に役立てていきたい。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止策により発表の場が少なくなってきた3年間であり、子どもたちの発信する力を再度育んでいかねばならないと考える。そこで、スクリーンやレイザーポイントを活用して今年度は、一部ではあるが地域の方への発信を試みることができた。今後も、学習した成果を発信する場を継続していきたい。



5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。